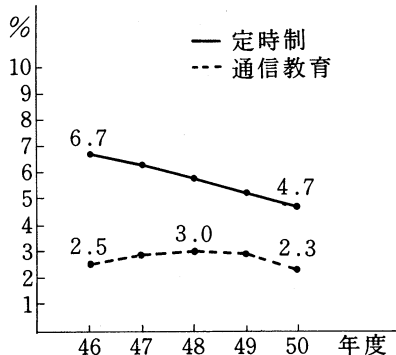


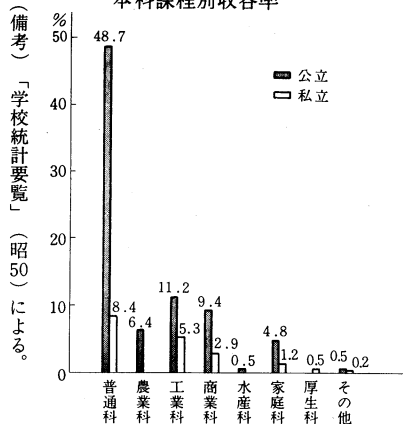
図一14 定時制・通信制生徒の推移



(備考) 1. 「学校統計要覧」による。
2. %は生徒総数に対する定時制・通信制生徒の比率である。
3. 私立を含む。

九・四%の順となっている。
この順序は私立においても全く同様で、普通科八・四%、工業科五・三%、商業科二・九%である。
水産科は公立のみ、厚生科は私立のみで、その収容率はいずれも〇・五%である。

図一13 昭和50年度 公私別、高等学校本科課程別収容率



(備考) 「学校統計要覧」(昭50)による。

表一18 定時制高等学校在学者の有職状況

(単位：人)

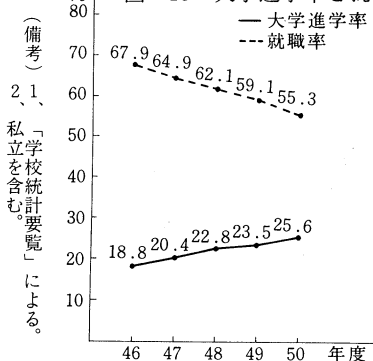
職種別	公務員	医療関係従事者	製造業従事者	会社等事務員	商店・パート員	自由・自営業従事者	その他
福島中央	17	22	348	17	—	—	121
安積第二	31	71	93	21	24	23	17
会津第二	—	33	83	9	48	—	31
いわき中央	2	30	115	16	24	10	31
計	50	156	639	63	96	33	200

(備考) 1. 4校の生徒総数は1,313名である。
2. 「学校統計要覧」(昭50)による。

(4) 減少する定時制課程生徒数を表一18でみると、この四校に在学する生徒の九四・二%は有職者で、五・八%の生徒は看護婦養成所等の各種学校に在籍している。
上昇する大学進学率

昭和四十六年度から昭和五十年年度までの本県における大学進学率と就職率の推移は、図一15に示すとおりであるが、五年間における大学進学率の増加の割合は一・七%で、就職率の減少の割合は三・四%となっている。
本県の大学進学率、就職率の推移を男女別に示したものが図一16である。これによると、昭和四十七年度以降大学進学率・就職率のいずれにおいても、女子が男子より高く、昭和五十年年度において、女子の大学進学率は男子のそれより一・九%高くなっている。

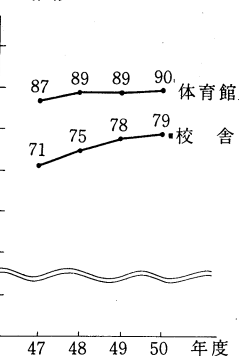
図一15 大学進学率と就職率の推移



(備考) 1. 「学校統計要覧」による。
2. 私立を含む。

を表一18でみると、この四校に在学する生徒の九四・二%は有職者で、五・八%の生徒は看護婦養成所等の各種学校に在籍している。
上昇する大学進学率

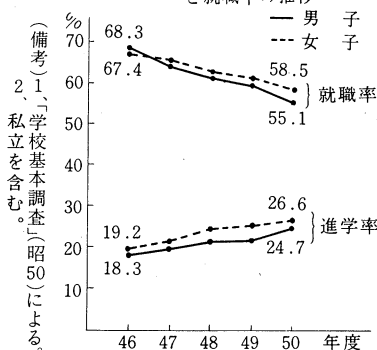
図一17 校舎・体育館の耐火構造率の推移



次に、産業教育施設・設備の充実率をみると、昭和四十九年度において施設五八・一%、設備六七・三%となっている。

(6) 整備が進む施設・設備
県立高等学校の校舎・体育館の耐火構造は急速に進み、昭和五十年の耐火構造率は校舎七九%、体育館九〇%となっている。

図一16 男女別大学進学率と就職率の推移



(備考) 1. 「学校基本調査」(昭50)による。
2. 私立を含む。